

イデックスオイルレポート ~For a month~

2023年11月1日作成 (株)新出光

【月次概況】

- 第1週、10/6のWTI原油は、先週比8.00ドル安の82.79ドルとなりました。米労働省がこの日発表した9月の雇用統計によると、非農業部門の就業者数は前月から33万6,000人増加と、市場予想(17万人)を大幅に上回った。ロシア政府は6日、先月導入した燃料輸出禁止措置について、パイプラインを経由した軽油の輸出禁止措置を解除したと発表。供給不足に対する警戒感が和らぎ、原油の圧迫材料となった面もあった。
- 第2週、10/13のWTI原油は、先週比ドル4.9高の87.69ドルとなりました。イスラエル軍は13日、ガザへの地上侵攻に近いことを示唆した。原油輸出が大きく落ち込むような兆候は今のところ見られないものの、市場では中東情勢が一段と緊迫化すれば、エネルギー供給に影響が及ぶ可能性が高まるとの見方が広がり、相場は一段高となった。
- 第3週、10/20のWTI原油は、先週比1.06ドル高の88.75ドルとなりました。納会を迎える11月物は午前中、持ち高調整を中心とした売り買いが交錯。ただ、前日の取引時間外で90ドル台まで上昇したこともあり、午後は利益確定の売りが強まり、マイナス圏に沈んだ。またクレーブランド連邦準備銀行のメスター総裁は20日に講演し、連邦準備制度理事会(FRB)の政策金利が「据え置く水準の近いか、その水準にある公算が大きい」との見解を表明した。市場では利上げ局面長期化による景気減速が原油需要低迷につながる懸念が再燃し、相場を下押し要因となった。
- 第4週、10/27のWTI原油は、先週比3.21ドル安の85.54ドルとなりました。イスラエル軍のスポークスマンは27日、同国地上軍が27日夜にも作戦を拡大すると表明。ガザ市の住民に南に避難するよう呼びかけた。これを受けて、パレスチナ自治区ガザへのイスラエル軍の地上作戦が本格化すると観測が強まり、パレスチナ情勢に対する警戒感が再燃。事態が一段と悪化すればエネルギー供給に影響を及ぼすと不安が強まり、原油が買い進まれた。

10月平均	WTI原油	85.47ドル	前月比	-3.96ドル	為替 1ドル	150.60円	前月差	1.87円
-------	-------	---------	-----	---------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	変動幅	変動幅
10/1~10/4	32.1	+1.0	+1.0
10/5~10/11	37.6	+1.5	+1.5
10/12~10/18	34.5	-6.5	-6.5
10/19~10/25	34.8	+1.0	+1.0
10/26~10/31	35.7	+3.5	+3.5

【単位:円/KL】

メニュー価格推移	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2023年7-9月C重油決定価格	92,950	94,950	【92,950(メニュー)+2,000(プレミアム)】
2023年10-12月C重油仮価格	105,770	111,230	【105,770(メニュー)+5,460(プレミアム)】	
2023年10-12月C重油決定価格				
決定価格7-9月比				

内航燃料油価格推移	適合油価格		A重油
	2023年7-9月C重油決定価格	100,400	109,600
2023年10-12月C重油仮価格	116,630		
2023年10-12月C重油決定価格			
決定価格7-9月比			

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格	通関CIF	為替レート	原油CIF価格
			円/kl	ドル/bbl	円/ドル	前月比
	23/9	9桁速報	79,650	86.45	146.48	6,150
	23/10	最終予測	89,990	96.12	148.84	10,340
	23/11	展望	84,677	93.49	144.00	-5,313
	23/12	展望	84,464	94.56	142.00	-213

【次世代エネルギー】〈パナソニック、家庭でグリーン水素発電 35年にも実用化〉

パナソニックホールディングス(HD)は、製造時に二酸化炭素(CO2)を出さない「グリーン水素」を家庭で自給自足できる装置を2035年にも実用化する。屋根などに設置して太陽光で水を分解して作る。一般家庭を想定した製造装置は世界でも珍しい。都市圏に設けられる供給拠点から運搬がしにくい地方で水素の普及を後押しする。

装置に組み込む特殊な光触媒に太陽光をあて、水を水素と酸素に分解する。製造した水素は貯蔵タンクに保存し、必要時に水素を燃料電池に投入して発電する仕組み。太陽光発電で自宅の電気をまかなう離島や過疎地の利用者が、夜間など太陽光が使えない時も発電できるようになる。

コンサルティングのデロイトによると、グリーン水素の世界の供給量は30年までに1億1500万トンとなり、ブルー水素を上回る。40年のグリーン水素の供給量はブルー水素の2.3倍に達する見通しで、水素社会の中核を担うとみられる。

装置は標準的な戸建て住宅の屋根にのせられるサイズを想定し、太陽電池のように薄いパネル状にして販売。触媒をガラスなど透明な板ではさみ、内部に水を通して太陽光と反応させ水素を作る。水素は専用の配管を通じて燃料電池やタンクに届ける。

出典:日経電子版 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF205GJ0Q3A920C2000000/>

【11月価格変動要因】

- 需要: 中国景況感について、引き続き鈍いものの足許では回復の兆しも出てきている状況。不動産セクターは信用不安が続いておりV字回復は見込み薄も、規制緩和が奏功しており、不動産販売には底打ちの兆候も見られる。特筆すべきこととして、中国当局が2023年の財政赤字拡大を容認し、対GDP比3%の上限を超える大規模な財政出動が期待されている。
- 米政府の債務急増による政府閉鎖リスクが引き続き焦点。11月17日には政府予算の期日が迫る中、中東情勢の悪化・アジア情勢への懸念から防衛費中心に予算は拡大傾向にあり、財政収支の悪化リスクを背景に米国債は売り優勢・金利上昇に繋がっている。景気については引き続き米国の独り勝ち。その主要因は堅調な個人消費である。
- 供給: イスラエル・パレスチナ間の戦闘激化による中東情勢の悪化。戦闘当事者である両者とも主要な原油供給のプレーヤーではなく、原油需給に与える影響は限定的。今般の戦闘が長期化し、米国サイド(とされる)サウジアラビア、或いはアラブサイドのイランに戦火が波及した場合、需給に対して直接的な影響を与える。ハマス(パレスチナ)をイランが支援していたことが明白化し、米国が対イラン制裁を強化した場合、報復措置としてイランがホルムズ海峡への妨害・封鎖を実施する可能性が存在する。ホルムズ海峡は日量17MBの原油供給路となっており、仮に封鎖となれば陸路パイプラインによる迂回もありうるとは言え、凡そ日量7MBの供給が途絶するリスクがある。
- 中東のパワーバランスの変化は原油需給にダイレクトに影響を与える為、今後の動向を注視したい。
- リスク資産・金融市場: 中東情勢の緊迫化を背景にリスクオフの様相を呈している。ロシアが北朝鮮に接近している他、中国-台湾の問題も有、アジア圏でも地政学リスクが発生する懸念が拭えない。そうすると米国は三面で地政学リスクに対処する局面を迎えることとなり、金利は一層高騰しやすい環境が構築されることとなる。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	98	94
Average	87	83
Low	80	76

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	97	93
Average	85	81
Low	78	74

日付	国	11月経済指標カレンダー	日付	国	11月経済指標カレンダー
1	米国	10月ADP雇用統計	17	ユーロ	10月消費者物価指数
1	米国	10月ISM製造業景況指数	21	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨
1	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表	27	米国	10月新築住宅販売件数
1	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見	29	米国	9月個人消費支出
3	米国	10月非農業部門雇用者数変化	29	米国	7-9月期四半期実質国内総生産(GDP、改定値)
3	米国	10月失業率	30	ユーロ	11月消費者物価指数
3	米国	10月ISM非製造業景況指数	30	米国	10月個人消費支出
14	ユーロ	7-9月期四半期域内総生産			
14	米国	10月消費者物価指数(CPI)			
15	米国	10月小売売上高			